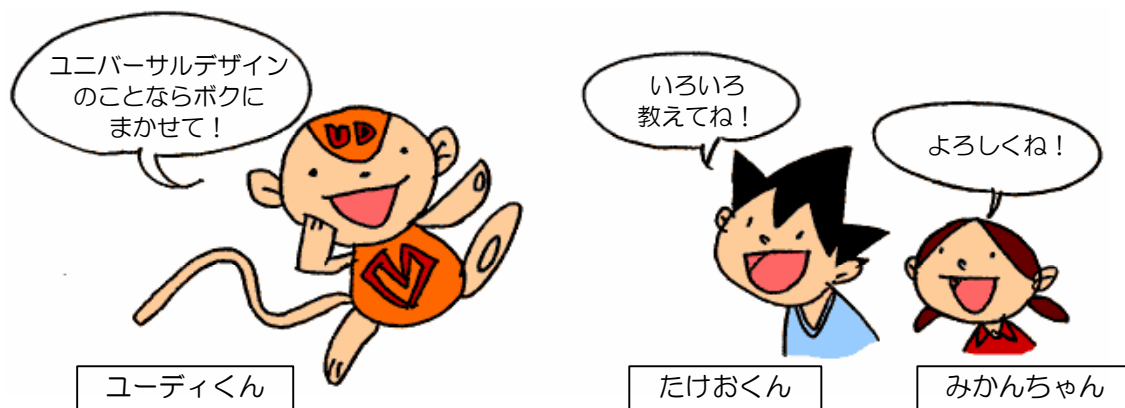


ユニバーサルデザイン のススメ



もくじ



1	みんなにやさしいまちを目指して	… 1
2	はじめよう！ユニバーサルデザイン	… 2
3	すすめよう！ユニバーサルデザイン	… 4
	1. ユニバーサルデザインのまちづくり	… 4
	2. ユニバーサルデザインのモノづくり	… 6
	3. ユニバーサルデザインのソフトづくり	… 8
	4. ユニバーサルデザインのこころづくり	… 9
4	ユニバーサルサービスを充実させよう！	… 10
5	ひろめよう！ユニバーサルデザイン	… 11
6	武雄のユニバーサルデザインチェック！	… 13

1

みんなにやさしいまちをめざして

わたしたちの社会にはいろんな人が住んでいます。

同じ社会に暮らすみんなのことについて理解を深めましょう。

わたしたちの社会には子どもからお年寄り、男性と女性、障がいのある方、外国人などいろんな人が暮らしています。

みなさんは普段の暮らしで不便さを感じたことはないでしょうか。

従来から障がいのある方にとってのバリアを無くそうという、バリアフリーの考え方がありますが、不便さを感じているのは障がいのある方だけではありません。

国際化や高齢化、価値観の多様化などにより、いつも社会のどこかで誰かがいろんな不便さを感じています。



武雄市ユニバーサルデザイン推進協議会では、みんなが自由に社会参加できるまちづくりを目指し、ユニバーサルデザインの取り組みを検討してきました。

ユニバーサルデザインは同じ社会で暮らすみんなのための新しい考え方です。



このユニバーサルデザイン推進計画書は、武雄市民みんながユニバーサルデザインのまちづくりに参加するための手引きとして策定したものです。

計画の期間については、特に定めず長期的なものとしています。

誰もが年老いて、ケガをしたり、生活する環境が変わることがあるのですから、ユニバーサルデザインに関係のない人はいません。

みんなでユニバーサルデザインのまちづくりに参加して、みんなにやさしいまち武雄市を目指していきましょう。

2

はじめよう！ユニバーサルデザイン

みんなにやさしいユニバーサルデザインのまちってどんなまち？

まずは、ユニバーサルデザインを知ることからはじめよう！

●ユニバーサルデザインとは？

ユニバーサルデザインはアメリカの建築家ロン・メイス博士により提唱された考え方です。

幼少の頃の病気の後遺症から電動車いすを利用していたロン・メイス博士は、障がいのある人のためのデザインよりも、はじめから多くの人が暮らしやすい社会の実現が必要であると考え、1985年にユニバーサルデザインを提唱しました。

ユニバーサルデザインの考えは、アメリカで多くの人の支持を集め、ノースカロライナ州立大学にユニバーサルデザインセンターが設立されました。

ロン・メイス博士はそのセンター所長に就任し、ここからユニバーサルデザインの考えは世界中に呼びかけられました。

みんな（ユニバーサル）が
利用できるように
設計（デザイン）しよう。



ユニバーサルデザインは年齢、性別、障がい、身体能力などに関係なく、はじめからみんなが暮らしやすいように、まちづくり、モノづくり、環境づくりなどを行っていかうという考え方です。

障がいのある人が感じる社会の障害（バリア）を除去（フリー）しようというバリアフリーの考え方に対し、社会で暮らすみんなのためにはじめからバリアの無い社会を目指すユニバーサルデザインは一歩進んだ考え方として高く評価されています。

●みんなではじめよう！ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインの考え方は、まだまだみなさんに浸透していません。

まずは、ユニバーサルデザインという言葉と意味をみなさんに知ってもらうことを目標として、武雄市の総合計画に掲げる 2016 年度の市民のユニバーサルデザインの認識度 100%（2004 年度は 25.2%）を目指して、ユニバーサルデザインの普及啓発に取り組んでいきます。

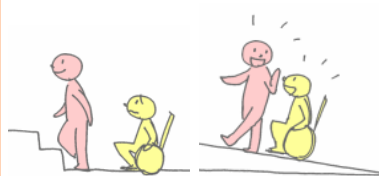
ユニバーサルデザイン Universal Design

※略してUD（ユーディ）



UD の7原則

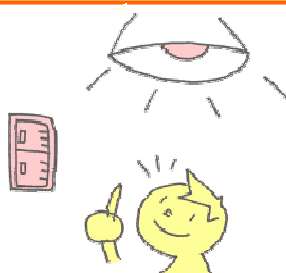
ユニバーサルデザインの基本的な考え方をあらわしたものです。



①誰にでも公平である



②使う上で不自由しない



③使い方がわかりやすい



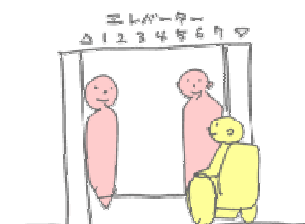
④情報がわかりやすい



⑤安全・安心であること



⑥よけいな力がいらぬ



⑦大きさ・広さが充分である

3

すすめよう！ユニバーサルデザイン

武雄市のユニバーサルデザインは①まちづくり、②モノづくり、③ソフトづくり、④こころづくり、それぞれの分野で推進していきます。

① ユニバーサルデザインのまちづくり

わたしたちが暮らすまちには、まだまだたくさんのバリアがあり、普段の生活に不便さを感じている人はたくさんいます。

建物や施設を整備する際は、できるだけたくさんの人の意見を聞いて、みんなが住んでよかった、訪れてよかったと実感できるまちづくりをすすめていきます。

●みんなにやさしいまちづくりをすすめよう

住宅や店舗、公共施設、道路、公園、公共交通機関など、わたしたちのまちの建物や設備は設計の段階から、みんなが利用できるように配慮しましょう。



駐車場や入口のスロープ、自動ドアの設置など、施設もいろんな人が利用しやすいようにしましょう。



歩道を確保し、道路との段差を無くすことで自転車や歩行者の安全が守られます。点字ブロックの設置も重要です。



公園も段差を無くし、見通しを良くすることでみんなが安心して憩える場所となります。また、ベンチがあることでちょっとした休憩や水分をとったり、赤ちゃんの世話をするときにとても便利です。



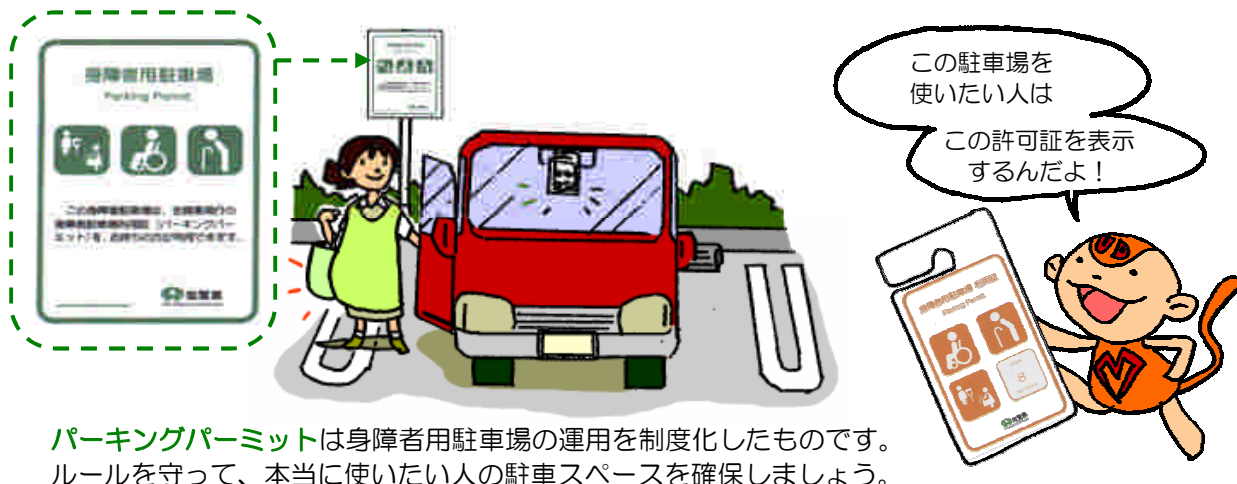
公共交通の車両にもノンステップバスなどが導入され、みんなが使いやすいように配慮されています。バス路線を維持するために、みんながバスを積極的に利用することも必要です。

●正しく使おう、みんなのための施設

佐賀県のユニバーサルデザイン推進の取り組みを代表する制度に「パーキングパーミット制度」と「みんなのトイレ」があります。

障がいのある人やお年寄り、子ども連れの方などにとって、専用の駐車場やトイレの有無は外出時における大きな不安要素のひとつです。

みんなが気軽にまちに出かけられるように施設を増やしていくとともに、マナー違反や迷惑行為がないように施設は正しく使いましょう。



パーキングパーミットは身障者用駐車場の運用を制度化したものです。ルールを守って、本当に使いたい人の駐車スペースを確保しましょう。



みんなのトイレは設備や広さなどが誰でも使いやすいように配慮されたトイレを、「みんなのトイレ」としてきちんと表示する制度です。誰もが気軽にトイレを使えるように、みんなのトイレを増やしていきましょう。



点字ブロックは目の不自由な人を誘導する設備です。上に物を置いたりしないようにしましょう。



玄関にある傾斜は、車いすの人などが通るためのスロープです。いつでも使えるように、クツを脱ぎちらかしたりしないようにしましょう。



② ユニバーサルデザインのモノづくり

わたしたちの暮らしに欠かせない「モノ」にも不便さを感じている人がいます。

製品開発の段階から従来からある製品に不安や不満、不都合がないか見つめなおし、できるだけたくさんの人が利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した製品の普及につとめます。

●ユニバーサルデザイン製品（共用品）を使ってみよう！

みんなに便利で安全、なおかつデザインもさりげなく良いのがユニバーサルデザインのいいところです。



シャンプーボトルの側面にはギザギザがついていて、目の不自由な方だけでなく誰でもかんたんにシャンプーとリンスを区別できるようになっています。



便利な機能が備わったものや、操作をわかりやすくしたものなど、携帯電話はたくさんの人に普及していることから、自分にあった機種を選ぶことができます。

障がいのある人やお年寄りの方などと、周りの家族や友人が共有できるように工夫されているユニバーサルデザインもあります。



車いすの方やお年寄りが楽に乗り降りでき、手だけで運転できるなどの工夫がされている福祉車両。



基本的な機能はそのまま、文字とボタンが大きく使いやすい電卓と、カラフルで文字もみやすいキーボード。



今まで障がいのある人や左利きの人などがモノを扱うには、ガマンして使うか、高価な専用のバリアフリー製品を購入して使わなければなりませんでした。

その点、ユニバーサルデザイン製品は使う人を限定しない分、大量に生産されることでみんなが安く購入できるようになります。



コンセントが抜き差ししやすく、省エネにもなるマグネット式のコンセント。



右手でも左手でも、こぶしでも扱えるカスタネット型のはさみ。



文字盤が見やすい時計。見やすい色、好きな色が選べます。



かかとの部分にチャックがついていておしゃれではきやすいスニーカー。



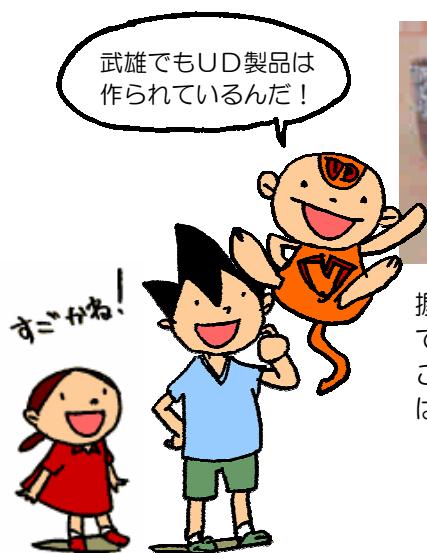
つぶれにくく、手ごろな大きさで、カバンにおさまりやすいスリムなペットボトル。



乗り降りがしやすく、子供用シートをつけても重心が低いいため安定感がある自転車。

●武雄産のユニバーサルデザイン製品を広めよう！

武雄のモノづくりにユニバーサルデザインを取り入れて、武雄産のユニバーサルデザイン製品を全国にPRしよう。



握りやすく、安定感があるのでコーヒーをこぼしたりすることなく、デスクワークにはもってこいのマグカップ。



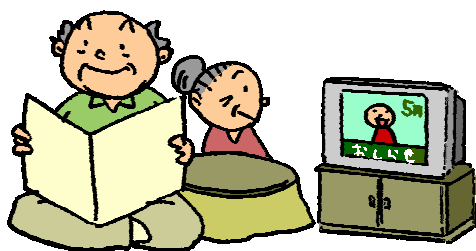
大きなハンドルを握ることでうどんなど熱い料理も持ちやすくなっている器。

③ ユニバーサルデザインのソフトづくり

情報やサービスの提供は、みんなの社会参加を支える上でとても重要なことです。いろいろな人が求める情報を入手できるようにするための工夫や、誰もが平等に利用できるサービスなど、ユニバーサルデザインのソフトづくりにつとめます。

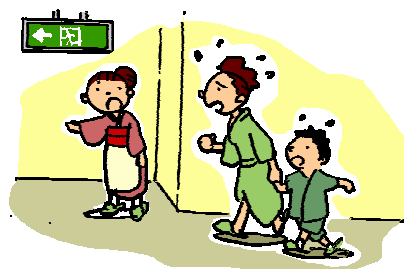
●情報はみんなにわかりやすく伝えよう！

情報はみんなのことを考えてわかりやすく、伝達する方法も工夫しましょう。



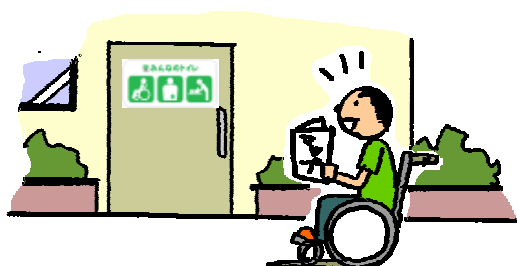
わかりやすい情報の提供

印刷物やテレビ、ホームページなどの情報は文字の大きさ、色、言葉づかいに配慮して見やすく、わかりやすいようにしましょう。



わかりやすいサイン

案内標識もシンプルで誰にでもわかりやすく。表示する場所も見やすいようにしましょう。



バリアフリー情報の提供

施設の紹介に「みんなのトイレ」などバリアフリーの情報を載せて、たくさんの人が気軽に外出できるようにしましょう。



障がいのある方や外国人との対話

手話や筆談、外国語への対応も重要です。自分ができなくても、できるひとを紹介することも対応のひとつです。

●みんなが参加できるイベントづくりをしよう！

イベントにもみんなが参加できるように、いろんな配慮をしましょう。



みんなが気軽に利用できる情報コーナーの充実。



障がいのある人やお年寄りに配慮した送迎サービス。



多機能トイレを設置してある周辺施設の臨時開放。

④ ユニバーサルデザインのこころづくり

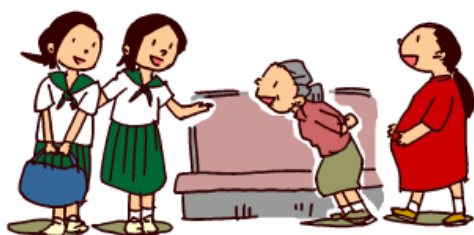
わたしたちの社会は、みんなの支えあいでも成り立っています。

市民一人ひとりがいろんな人の立場を理解し、同じ社会に暮らす仲間として互いに支えあう気持ちを育むユニバーサルデザインのこころづくりにつとめます。

●みんなのやさしいこころを育てよう！

普段の生活にもみんなを思いやる気持ちを忘れずに。

こころのユニバーサルデザインの輪を、武雄市いっばいに広げましょう。



お年寄りや妊婦さんにすすんで席をゆずりましょう。



困っている人を見かけたら「お手伝いしましょうか？」と一声かけましょう。



まだまだ、バリアはたくさんあります。まわりの人の気配りがとてもうれしい。



地域の人とのふれあいを通じて、子どもやお年寄りの安全安心を守りましょう。

●社会のルールを守りましょう！

社会のルールはみんなが快適に暮らすために守るべきものです。

大人がきちんとマナーを守り、子どもにも社会のルールを教えましょう。



火のついたタバコは凶器です。歩きタバコはまわりに危険ですので、絶対にやめましょう。



歩道をふさぐ迷惑駐車。ちょっとした用事でも迷惑する人がいるのでやめましょう。



エレベーターや電車の乗り降りは、降りる人が優先です。

4

ユニバーサルサービスを充実させよう！

いろんな面でみんなに公平なサービスを提供するユニバーサルサービスへの取り組みは、武雄市のユニバーサルデザイン推進の重点項目です。市民の社会参加の支えとして、武雄市を訪れた方をおもてなしする新たなテーマとして、市内の店舗や事業所におけるサービスの充実につとめます。

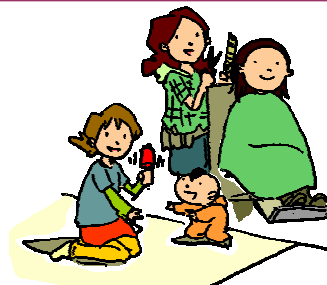
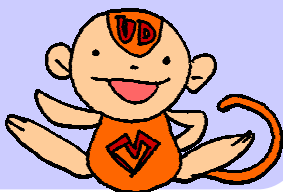
●みんなが満足できるサービスを目指そう！

世の中にあるたくさんのバリアも、ちょっとした心づかいや機転をきかした対応をすることで解決できることがあります。

誰もが特別扱いされる事なく、公平に利用できるサービスの充実につとめます。

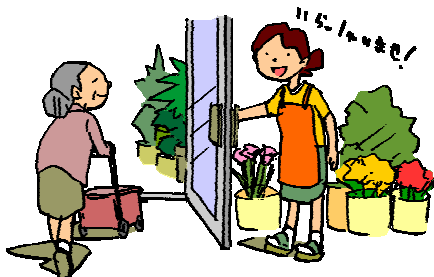
ユニバーサルサービス 5つのポイント

みんなに喜ばれるサービスのポイント
をまとめてみました。



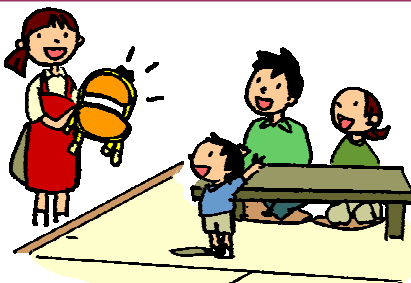
①誰にでも気軽に利用できる

育児中のお母さんなど、いろんな人が気軽に利用できるような工夫あるとうれしい。



②特別扱いをしない（さりげない対応）

サービスを受ける人が気兼ねしないように、機転を利かせた接客を心がけましょう。



③ちょっとした心づかい

ちょっとした心づかいで、サービスの印象は大きく変わります。



④たくさんの人の意見を参考に

店に対して不満に思うことを、お客さんはわざわざ教えてくれません。日頃からお客さんの意見を聞く姿勢が大切です。



⑤いろんな人の要求に答える

お客さんの要求に答えることは、サービスの基本。利用する側も積極的に利用してサービスを支えることが必要です。

5

ひろめよう！ユニバーサルデザイン

武雄市では、ユニバーサルデザインの認識率 100%を目指していきます。ユニバーサルデザインとはどのようなものか、さまざまな取り組みをとって市民のみなさんにご理解いただきたいと考えています。

●武雄市ユニバーサルデザインのロゴマークを活用しよう！

武雄市でのユニバーサルデザイン推進活動のシンボルとして、ロゴマークの活用を積極的に図っていきます。

具体的には、いろいろな人が使いやすいように配慮された施設やお店、モノ、サービスなどに対して、ロゴマークステッカーの交付などをしていきます。



※実物大とは異なります。

例えば・・・

- ・ お店の入口にスロープを設置して段差を解消した
- ・ 既存のトイレをいろいろな人が使いやすいように改修した
- ・ 既存の施設が充分にいろいろな人に対応ができる施設である
- ・ 武雄産のユニバーサルデザインの製品を開発した
- ・ 印刷物（チラシ、パンフレットなど）にバリアフリーマップを掲載した
- ・ お店、旅館、ホテルなどでユニバーサルサービスを実施している
- ・ サークル、団体でユニバーサルデザインの普及活動を実施している など

また、ロゴマークの活用やユニバーサルデザインの推進にご協力いただいた事例につきましては、武雄市のユニバーサルデザインのホームページでのご紹介や佐賀県UD大賞への推薦をしていきます。

●ユニバーサルデザインの出前講座

ユニバーサルデザインのことをもっとよく知りたい、自分たちで取り組んでみたいというみなさんの職場や団体に出張して、よくわかるユニバーサルデザインの出前講座を実施いたします。

●武雄市ユニバーサルデザイン推進協議会について

『武雄市ユニバーサルデザイン推進計画書』は、武雄市ユニバーサルデザイン推進協議会で策定しました。

今後も武雄市におけるユニバーサルデザインの推進に向けて、さまざまな取り組みをすすめてまいります。

分 類		所 属 団 体	氏 名	備 考
1	学 識 経 験 者	嬉野高校	浦郷久美子	教 諭
2	観 光 部 門	武雄市観光協会	江口 敬子	東洋館
3	商 工 部 門	武雄商工会議所	松永 良恵	女性会
4	建 設 部 門	武雄市建設業協会	橋口 秀逸	(株)橋口組
5	建 築 部 門	佐賀県建築士会 武雄支部	山炭 徳義	五光建設(株)
6	運 輸 部 門	J R九州	竹下 勉	武雄温泉駅 駅長
7	ソ フ ト 部 門	(株)ケーブルワン	加藤 清美	取締役営業部長
8	福 祉 部 門	社会福祉協議会	飯田 圭子	福祉活動専門員
9	教 育 部 門	市内小中学校	山口 直子	若木小学校 校長
10	市 民 代 表	武雄市身体障害者福祉協会	松尾 義幸	会 長
11	市 民 代 表	子育てサークルの会『ぽっかぽか』	小林 由枝	ぶくぶくクラブ
12	市 民 代 表	老人クラブ	山口 傳次	理 事
13	公 募 市 民	わっかもんプロジェクト	片渕さゆり	とぜんなかつ隊
14	公 募 市 民	わっかもんプロジェクト	光武 俊博	とぜんなかつ隊

6

武雄のユニバーサルデザインチェック！

武雄のまちのユニバーサルデザインチェックをしてみましょう。

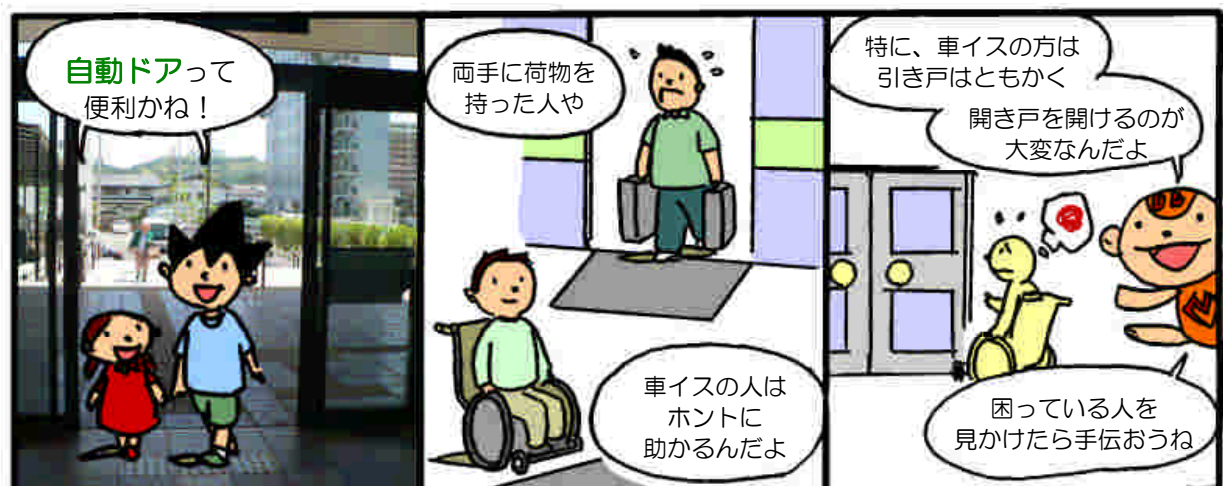
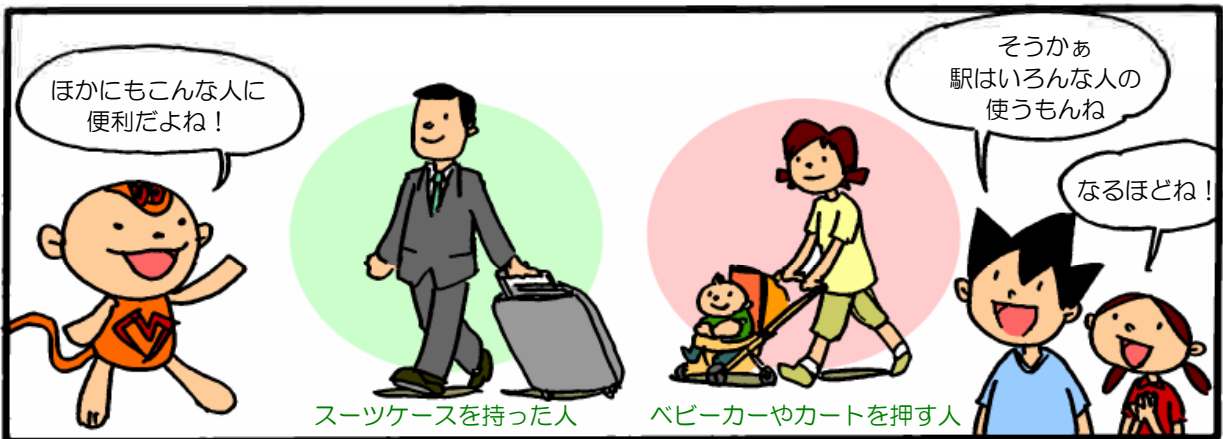
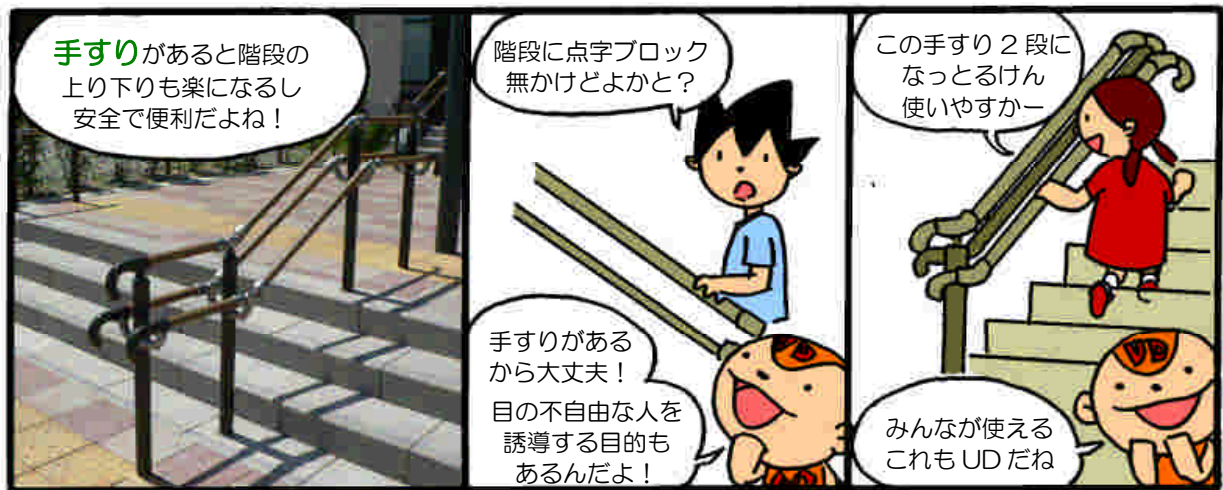
●武雄温泉駅のユニバーサルデザインチェック

ユニバーサルデザイン推進協議会では、JR武雄温泉駅をはじめとする武雄のまちのユニバーサルデザインチェックを実施しました。

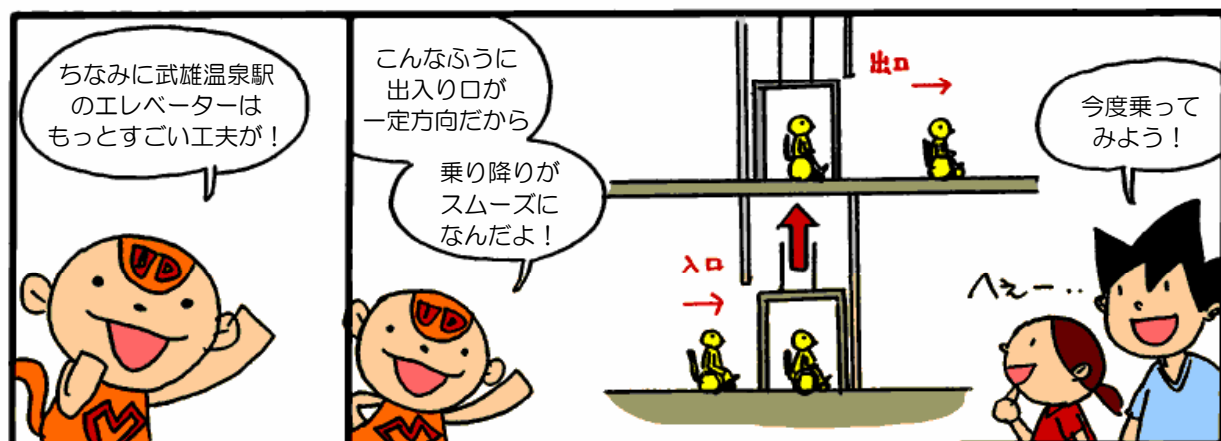
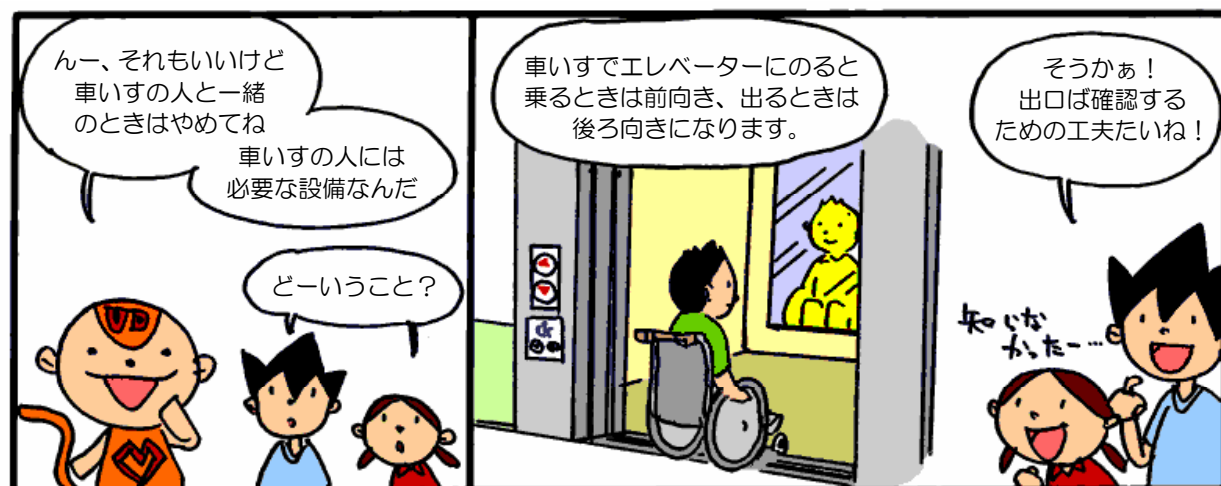
武雄温泉駅はいろんな人が利用しやすいようにたくさんの工夫がされています。いろんな立場の人が、それぞれ施設の必要性を理解することで、みんなが一緒になってユニバーサルデザインについて考えるととてもいい機会になりました。

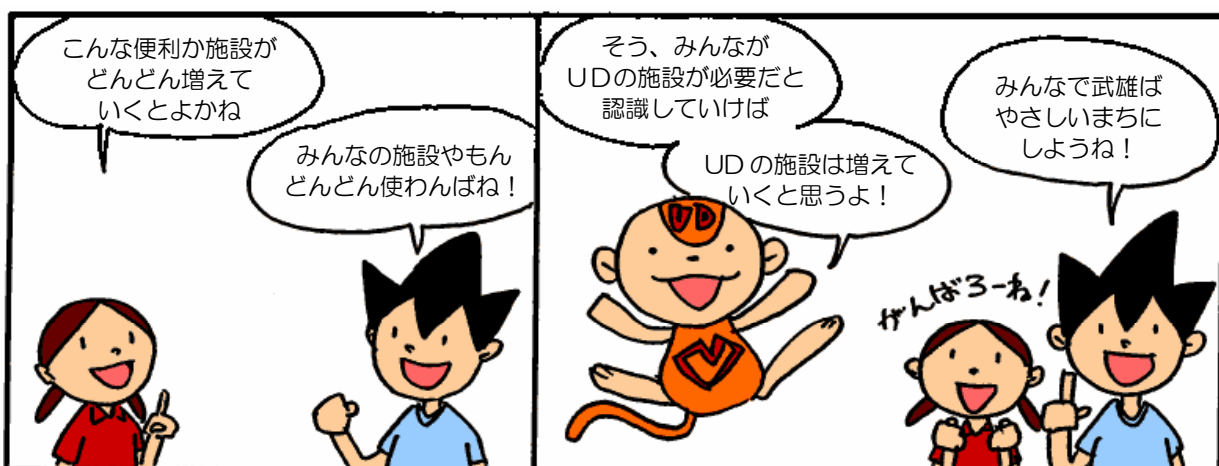
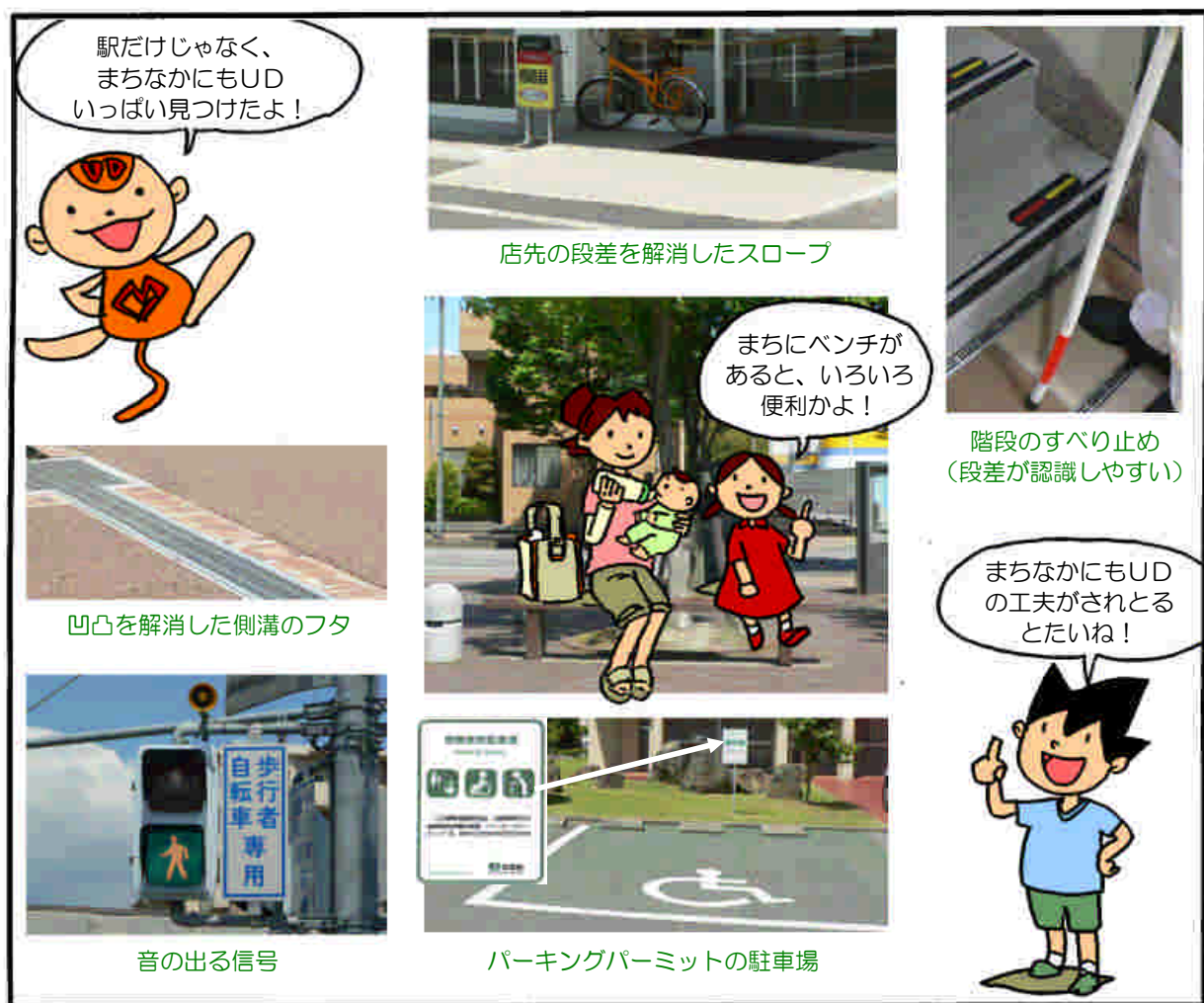
ぜひ、みなさんも武雄のユニバーサルデザインチェックを実施してみてください。



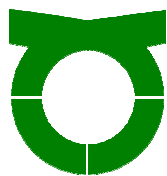








みんなにやさしいユニバーサルデザインのまちを目指そう！



武 雄 市

●ユニバーサルデザインに関するお問合せ●

武雄市企画部企画課ユニバーサルデザイン係
〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和1番地1
電 話 0954-23-9325 F A X 0954-23-3816
e-mail kikaku@city.takeo.lg.jp
ホームページ <http://www.city.takeo.lg.jp/UD/>